



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.10 (115)

2013.10.29

今年の秋は、寒暖の差の激しい点で記憶に残りそうです。徐々に地球が壊れていく雰囲気ですが、できるだけ陽にとらえて前に進みたいものです。会員の皆様には、その後もご健勝のことと拝察申し上げます。「神無月」の活動報告をお届けいたします。

- 1 10月13日(日)に、本研究会も設立9周年を迎え、満9歳になりました。来年には満10歳となります。先般にご連絡していますように、以下の次第で「10周年記念祝賀会」を予定しています。記録に書き留めていただきますようお願いいたします。

日時：2014年9月6日(土)

会場：未定(現在、検討中)

講演会：同日。13時～17時

互励会：同日。18時30分～21時

- 2 「日本医師会生涯教育制度適合学術講演会：医学統計基礎セミナー」[第4回講座]が以下の次第で開催されました[敬称略]。

日時：2013年10月9日(水)。19時00分～20時30分。

会場：ホルトホールおおいた 4F 404会議室

講師：藤澤正樹、松原義弘

参加者：12名[支援参加者を含む]

講義概要：ある二つの特性(変数)、たとえば、体重と身長の間を知りたいとする。この場合、単純に両者の関係の強さだけを評価するときには、身長からみた体重と体重からみた身長の関係は同一と見做して「相関」がその俎上にあがる。他方、体重を目的とする変数、身長はそれを説明する変数と考え、それらの関係を評価したい場合には、「回帰」の方法が用いられる。回帰と相関は互いに関連しているが、それらの方法と解釈には大きな相違がある。ここでは、それぞれの特徴を、事例を用いて紹介した。回帰解析の過程、さらにはその評価における種々の診断に有効な幾つかのグラフィカル表現法を、集団的側面から評価する立場と個々の対象に注目する立場から、事例を交えて提示した。

課題検討会は「てらち」で開かれ、6名の方々が参加されました。



—医学統計基礎セミナーでのひとこま—

なお、第5回講座は2014年1月17日(金)に開かれます。講師は坂本 亘・後藤昌司の方々です。

③ (1) 定例研究会[東京]が以下のとおりに開催されました[敬称略]。

日時：2013年10月25日(金)。13時30分~17時30分。

会場：ファイザー(株) 18N会議室。

演者・演題：

五十川直樹：形状分布パラメータのBayes流推測を用いた臨床試験デザインについて。

丸尾和司：歪んだ分布の中央値の差の推測。

丸山奈美：日常の業務から：3-Layer approachについて。

河合統介：最近の話題。

松原義弘：生存時間研究での症例数の設計。

後藤昌司：統計的データ解析の過程：基本に還れ。

最近の話題から「統計哲学」まで、活気あふれる議論で盛り上がりました。台風27号の余波のなか、「課題検討会」が「みょうがや」で開かれ、6名の方々が参加され、統計家の魅力についての意見交換がありました。



—定例研究会でのひとこま—

次回は以下の次第で開催されます。ご発表予定の方は幹事までご連絡をお願いいたします。

日時：2013年11月8日(金)。13時~17時。

会場：エーザイ(株) 別館会議室。

(2) 定例シンポジウム2013「医療で必要とされる統計的基礎知識」が以下の次第で開催されました。[敬称略]

日時：2013年10月26日(土)。10時~17時15分。

会場：ファイザー(株)18階会議室。

講師：富金原 悟，河合統介・丸尾和司，廣岡秀樹，菅波秀規，東郷香苗，池田公俊。

組織者：河合統介・富金原 悟・後藤昌司。



一定例シンポジウムでのひとこまー

参加者からの感想は次号に掲載いたします。多数の方々に参加され、活発な質疑応答がありました[参加者 23 名：支援参加者 18 名].

4 今後の予定を以下に列挙いたします。

(1) 特定主題シンポジウム 2013「製造販売後における臨床評価の過程：個に基づく最適治療の探索」が以下の次第で開催されます。奮ってご参加いただくと幸いです[敬称略].

日時：2013年11月9日(土) . 9時50分～17時10分.

会場：エーザイ(株).

9:50-10:00 開会の挨拶 石井美佳 (エーザイ(株))

座長：後藤昌司 (特定非営利活動法人 医学統計研究会)

10:00-11:00 「医薬品リスク管理計画 (RMP)」の対応を「育薬」に活かす製薬企業の行動計画
北島行雄 (株CAC エクシケア)

11:15-12:15 従来の使用成績調査等のあり方を根底から見直す 小宮山 靖 (ファイザー(株))

座長：河合統介 (ファイザー(株))

13:30-14:30 「RMP」と「使用成績調査等」との狭間に：これからの疫学調査・臨床研究を考える

青木事成（中外製薬株）

14:40-15:40 臨床研究への取り組み：ゲノムデータ解析から医師との統計解析まで

富田 誠（東京医科歯科大学）

15:50-16:50 生存時間解析における樹木構造接近法の適用の実際

杉本知之（弘前大学）

16:50-17:30 閉会の挨拶

松原義弘（特定非営利活動法人 医学統計研究会）

(2) ウィンターフォーラム2013が以下の次第で開催されます。

日時：2013.12.7(土). 9時20分～17時40分.

会場：大阪大学 豊中キャンパス 待兼山会館

プログラムは、現在、作成中です。ご発表・ご参加をよろしくお願いいたします。

5 以下に本研究会の連携活動の一端をご報告いたします。

(1)大分統計談話会・第48回大会が以下の次第で開催されました。

日時：2013年10月10日～11日

会場：富士通大分システム・ラボラトリ

第49回大会は2014年2月13日～14日に上記と同じ会場で開催されます。

現在、プログラムの作成に向けての検討が進められています。ご発表・ご講演を予定されている方は、事務局へご一報いただくと幸いです[敬称略]。

連絡先：志賀 功<shiga@solution-labo.com>，衛藤俊寿<toshihisa.eto@jp.fujitsu.com>。





—大分統計談話会・第48回大会でのひとこま—

Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。